

⑦ 巡査教習所（現警察学校）

新採用巡査に対する実務を教習する所として、県庁内に設置されていたものが、県庁舎の新築工事のため一時後河原に移転。旧藩庁門西側に新館を建築し大正5年移転しました。戦後県警察学校となり、昭和28年丸山の西側に新築されました。現在は仁保に移転しています。

⑧ 公会堂

大正8年春日山麓に建造されました。玄関は旧県庁（藩庁）の玄関車寄せを移築したもので、瓦葺き入母屋造の和風建築は、同5年竣工の煉瓦造大正モダンの新県庁舎（現県政資料館）と好対照をなしました。昭和33年解体。

⑨ 教育博物館

皇太子（大正天皇）行啓記念として県教育会が、明治45年大殿大路の旧大殿小学校の地に防長教育博物館を開設。大正天皇即位記念事業として県立に移管し大正6年春日山麓に新築・開館。戦後県立山口博物館になります。

⑩ 山口高等女学校

山口中央高校の前身。湯田にあった毛利高等女学校を引き継ぎ明治33年発足、大正11年今の山口大学附属小学校の地に新築移転。同14年県下初の水泳プールが完成し、ここで育った松村選手が昭和11年ベルリンオリンピックに出場しました。

⑪ 附属小学校

明治7年旧山口明倫館の地に創立、以後師範学校附属小学校として変遷。大正15年芳沢町（現市中央駐車場付近）に移転、戦後山口大学教育学部附属山口小学校となり、昭和32年山口高女跡に移転しました。

⑫ 今道小学校

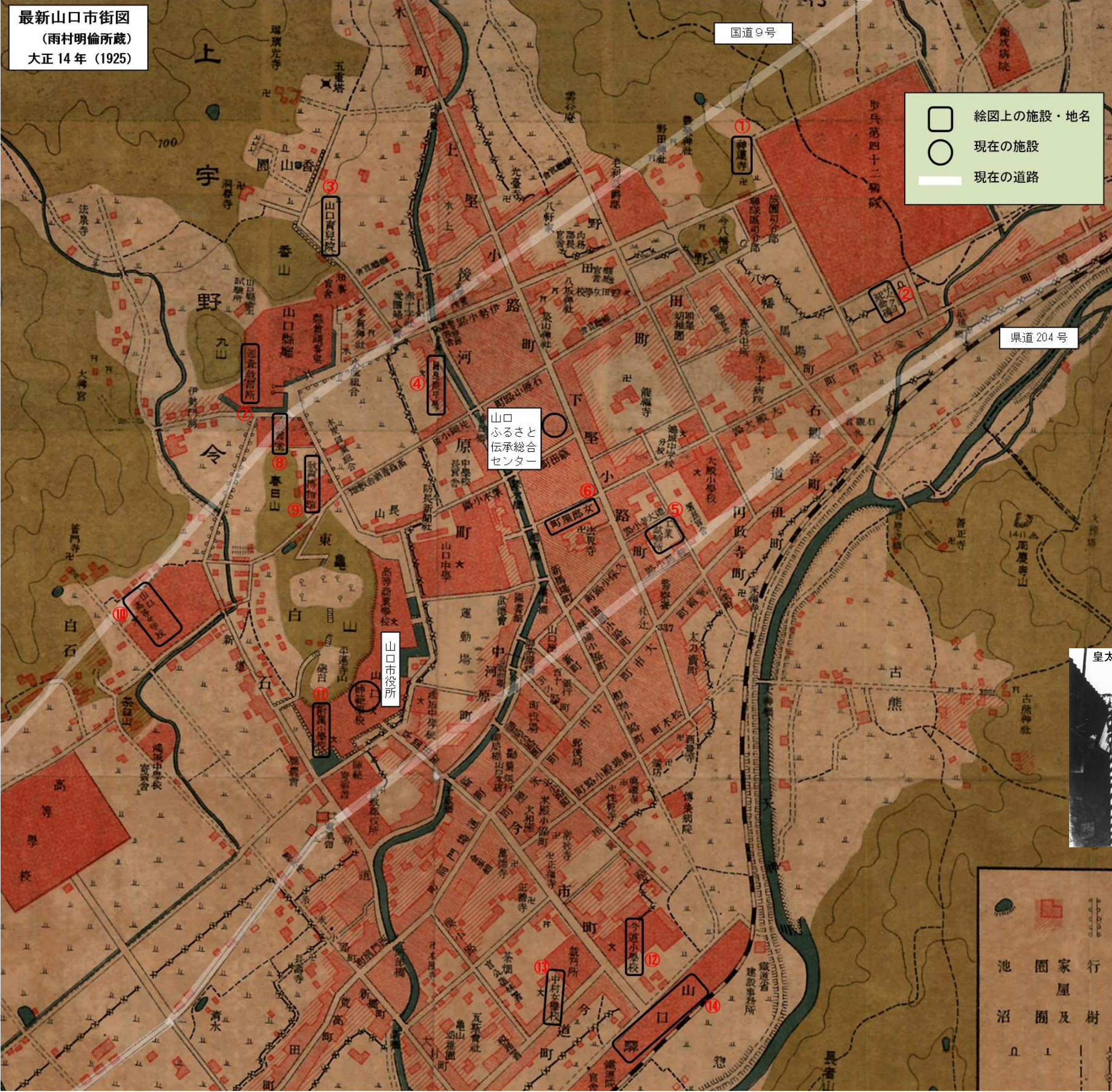
明治5年今道の旧山口客館の地に創立された山口第一小学は、同6年第一番今道小学校と改称。同9年今市に移転、昭和4年東白石に移転しました。白石小学校の前身。

⑬ 中村女学校

慶応3年（1867）中村ユスが野田に裁縫私塾を開設（後の野田御殿の地）。明治14年米殿小路に移り中村裁縫伝習所と称し、同22年御局小路に移転し中村裁縫女学校と改称、同33年今道の現在地に移転しました。大正2年中村実科高等女学校に、同9年組織を変更し中村高等女学校となりました。

⑭ 山口駅

山口に通じる鉄道として軽便鉄道がありました（明治43年小郡から御茶屋橋前山口駅まで開通）、大正2年国鉄山口線・小郡-山口間が開通し山口駅が開業、軽便鉄道は廃止されました。難工事を経て同12年石見益田まで全通、山陰本線と結ばれました。駅舎は昭和53年の改築まで使用されました。



① 神蓮寺

真言宗。建久年間（1190-1199）大内弘盛が創建。神宮寺と称し後に神光寺と改号。仁壁・今八幡・祇園の三社の別当で、大内氏・毛利氏より崇敬された巨刹でした。明治3年長山の平蓮寺を合併し神蓮寺と改号。大正5年岩国の妙福寺を合併して神福寺に。

② ザベリヨ記念碑

日本最初のキリスト教教会といわれる大道寺跡を、明治期にヴィリオン神父が探求、大正15年推定地付近に記念碑が建てられました。大正初め頃、中原政熊（中也の祖父）の名義等で土地を購入、鮎川義介も援助しました。

③ 山口育児院

貧困による児童問題が、明治37年日露戦争勃発により深刻化する中、同年洞春寺境内に荒川道隆住職によって創立されました。同41年松の木町の廃寺妙西寺の古材により洞春寺門前に移転、昭和42年現在地に新築移転されました。現在の建物は平成16年に建て替えられたものです。

④ 国学院中学

天保11年（1840）藩主の命により萩に凝成館を設立、文久3年（1863）高嶺太神宮付近に移転し五十鈴学館と改称。明治6年後河原に移り奨弘学館と改め神職・教導職を養成。同30年山口国学院となり、大正3年山口国学院中学と改称。同7年大殿大路の旧防長教育博物館の地に移転、同12年鴻城中学校に合併され校舎は鴻城中学校分教室に。再び山口国学院として後河原の旧校舎に戻りました。昭和41年野田に移り同61年廃校。

皇太子御成婚奉祝・大正13年頃の下野小路町（山口市歴史民俗資料館蔵）



⑤ 工業試験所

大正8年県工業試験場が開設され、ここで大内人形の原型が作られます。県商工指導センター（昭和42年朝田に設置）等を経て平成11年県産業技術センターが宇部に設置されました。

⑥ 女郎屋町

大内時代、上臈女房（身分の高い女官）が住んでいた町と伝えられます。学生の下宿屋が多く、仕送りをする親が心配して訪ねてきたという逸話も。昭和になって「錦小路」に改名されました。